

(公財)神戸大学六甲台後援会だより (81)

本誌の読者の皆様の中には、この記事の見出しにある六甲台後援会がどのような組織であるかを十分にご理解いただいている方もおられる一方で、六甲台後援会がどのような組織であるかを十分ご存じでない方も、特に若い凌霜会員を中心としておられると思います。『凌霜』誌に誌面をいただいており、また凌霜会とも連携してはいますが、六甲台後援会は正式名称を

公益財団法人神戸大学六甲台後援会といい、同窓会組織たる凌霜会とは別の目的をもつて1957年の設立認可以来、活動を行つております。

主な活動は、当財団をご支援くださる皆様からの寄附金を基礎として行う助成で、その内容は学術交流促進や学術成果公開など、主に教員が行う研究活動に対する支援事業と、教育に対する支援事業に大別されます。

後者の教育支援活動の中でも重要なものの一つとして、学部生および大学院生に対する社会科学特別奨励賞(「凌霜賞」)があります。学部生に対しては、経済学部・経営学部・法学部に在学する学部学生の成績最優秀者への奨学金支給が行われています。また、これに関連する事業として、学部卒業生の成績最優秀者の表彰(「六甲台賞」)も現在は六甲台後援会の資金提供の下で授与されています。また、大学院生に対しては経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・国際協力研究科の大学院学生が、海外研究活動を行う際に支援を行つております。

社会科学特別奨励賞は六甲台後援会の創立50周年記念事業の一つとして開始された事業で、2008年に最初の授与者が出土賞ですので、自分が学生の時にはなかつたと思われる方も多いでしょう。授与式の様子は、本誌でも取り上げられることが多いので、ご存じの方も多いかと存じます。

受賞者は毎年の『凌霜』や「六甲台後援会だより」に掲載されています。これらを眺めていると、ゼミ生など自身が教員をしている中で記憶のある学生の名前や、研究者として活躍している同僚や他の大学の先生が掲載されていることに気づきます。筆者の所属している経営学研究科の過去の受賞者の中に、見落としあるかもしれませんのが神戸大学に所属する6名の現役教員の名前がありました。

大学院在籍中に支援を受けた現役教員の一人と、この賞による支援について立ち話の機会に聞いてみました。その方は、海外での学会発表に対する支援を受け、旅費の一部が後援会から支給されたそうです。実際に海外での学会報告から得ることができた経験は貴重で、また、その方は日本学術振興会の特別研究員などの支援を得ていなかつたため、六甲台後援会の支援は大きかつたと話してくれました。

「六甲台後援会だより」では、事業報告の中の一項にまとめられる事業ですが、支援を得た人ひとりひとりに大きな力となつたことを感じました。

このような教育支援は、時にさらなる波及効果が存在します。研究者として神戸大学に所属した元学生は、現在では教員として教壇に立ち、その成果が授業やゼミの中で現在の学生たちに

還元されていくのです。奨励・支援が、時をへてより大きな成果として現在、そして未来の学生に届いているのだといえるでしょう。皆様からいただいたご寄附は、直接的に目に見える研究成果としてすぐに現れるものではありませんが、時間を経過する中で、確実に成績に向かっていることをご理解賜りますと幸いです。

このような同窓の皆様のご支援は、日本のみならず海外においても、財政的な側面で高等教育機関に逆風が強くなりつつある中、ますます貴重なものとなつております。六甲台の研究・教育を見守つていただき、また引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(経営学研究科教授 清水泰洋)

令和7年度事業計画について

公益財団法人神戸大学六甲台後援会は、財團設立以降、主に本学の社会科学系部局の学術の発展と教育の充実に寄与することを目的として次のような事業を行つています。

- 1、学術交流の促進に対する助成
 - 2、学術成果の公開に対する助成
 - 3、教育の充実に対する助成
 - 4、学術研究に対する助成
 - 5、学術基盤の整備に対する助成
 - 6、学術交流施設の維持管理
 - 7、その他財団が必要と認める助成
- さて、令和7年度事業計画につきまして、その概要をご報告

申し上げます。事業計画は、昨年12月、社会科学系各部局に対して助成事業の募集を行い応募申請された各種事業について、それぞれの事業が本財団の公益事業として相応しいかを理事会において審査し、承認されたものです。今年度から新たに、国際学術雑誌のオープンアクセス掲載料の支援（合計350万円）、経済・経営・法学研究科に内部進学した学生への奨学支援（合計270万円）を助成いたします。このほか、今年度、六甲台本館中庭ガーデン整備事業に対しても助成いたします。

このような各種事業は、皆様から今までにいただいた寄附金の運用収益や新たに卒業生の皆様等からいただいた貴重なご寄附により行つています。（単位万円）

1. 学術交流の促進に対する助成・・・・・ 計 1,720

(1) 海外派遣支援 (1,240)

(2) 学会・シンポジウム・カンファレンス・ワークショッピ等開催支援 (480)

2. 学術成果の公開に対する助成・・・・・ 計 400

(1) 学術研究成果刊行に対する支援 (150)

(2) 海外学術雑誌投稿に対する支援 (250)

3. 教育の充実に対する助成・・・・・ 計 1,599

(1) 学部学生の教育に対する支援 (534)

ア. 成績優秀者に対する奨学金支給（社会科学特別奨励賞）

イ. 4年間の成績優秀者に対する支援（六甲台賞）

ウ. 各部局における各種教育プログラムに対する支援

エ. 学部学生の海外派遣に対する支援

オ. 学部相互履修科目開講支援

カ. キャリア形成に対する支援

合 計 7,874

(2) 大学院学生の教育に対する支援 (705)

- ア. 各部局における各種教育プログラムに対する支援
 - イ. 大学院生の海外派遣に対する支援
 - ウ. 神戸大学MBA加護野忠男論文賞
 - エ. エクスターインシップ実施支援
 - オ. 内部進学者への奨学支援
- (3) 特定の基金による学部学生及び大学院学生の教育に対する支援 (360)
 - ア. 凌霜研究奨学基金による教育に対する支援
 - イ. 田崎奨学基金による奨学金支給
 - ウ. 久研究奨学基金による海外研究活動に対する支援
- 4. 学術研究に対する支援 · · · · · 計 650
 - (1) 研究プロジェクトに対する支援 (400)
 - (2) 社会システムイノベーションセンターに対する支援 (200)
 - (3) 特定の基金による学術研究に対する支援 (50)
 - ア. 裏山研究奨学基金による学術研究に対する支援
 - 5. 学術基盤整備に対する助成 · · · · · 計 425
 - 6. 学術交流施設（ロイ・スマス館）の維持管理による学術交流の促進に関する事業 · · · · · 計 30
 - 7. その他財団が必要と認める助成 · · · · · 計 3,050
 - (1) 六甲台本館中庭ガーデン整備 (3,000)
 - (2) 専門職大学院に係る教育研究環境整備 (ベビーシッターサービス提供支援) (50)

六甲台賞の授与について

令和6年度の「六甲台賞」が各学部において授与されました。

六甲台賞は、六甲台3学部を卒業する者で、各学部において学業成績が最も優秀であった者に対し、その努力を讃えるため授与されるもので、令和元年度に神戸大学六甲台後援会が凌霜43年会から引き継いだものです。受賞されたのは次の方々です。
 （経済）天野悠斗、（経営）北村優衣、（法）大西真由の皆さんです。

神戸大学MBA加護野忠男論文賞の授与について

3月29日（土）、令和6年度MBA加護野忠男論文賞の授賞式が行われました。受賞されたのは、金賞は味元亜希子氏の「職場の意地悪に関する研究」、銀賞は西山英毅氏の「事業ポートフォリオ再編に向けたM&A戦略の成功要因」、銅賞は永津慎太郎氏の「企業のマーケット・シェイピングを成功に導く組織能力についての研究」です。

なお、MBA加護野忠男論文賞は、神戸大学MBA内部で行っていたものを令和2年度から神戸大学六甲台後援会の事業として行つて行つているものです。

いつも皆様の「寄附誠にありがとうございます」といいます

前号でご報告させていただいた以降、年度末までに次の皆様からご寄附をいただきました。

金額別に、谷田光彌様（昭39経営）2千円、能丸知子様（平

14法)、大和捷男様（昭36経済）、藤川 勝様（平30国際協力）

各3千円、織田弘一様（昭36法）、玉田昌史様（平9法）各5千円、

領木康雄様（昭54法）、匿 名様（昭37経済）、江藤秀亮様（昭42経済）、浅野大策様（昭50経済）、福西美幸様（平5経済）、

浅野英雄様（昭40経営）、匿 名様（昭42経営）、押上重郎

様（昭45経営）、大辻茂雄様（昭46経営）、匿 名様（昭49経営）、

金井壽宏様（昭55経営研究科）、南知恵子様（平4経営研究科）各1万円、匿 名様（昭42法）、佐々木知子様（昭53法）、堺

又一様（昭43経済）、中廣正典様（昭41経営）各2万円、匿 名

様（昭56法）3万円、小野俊明様（昭36経済）5万円、新垣恒則様（昭40経営）10万円です。これで令和6年度中の受入額

は、合計768万744円になりました。

令和7年度になつてからは（5月9日現在）、松原永長様（平5法）、田中宏政様（昭62経済）各5千円、瀧本 豊様（昭53経済）、風早正幸様（昭43経営）、匿 名様（昭49経営）各1万円、三宅基治様（昭44経済）、若狭一弘様（昭55経済）各3万円、松尾憲治様（昭48経済）10万円、野中克己様（昭44経済）20万円、計40万円をご寄附いただきました。

また、4月には一般財団法人森下育英会様から1億円のご寄附をいただきました。誠にありがとうございます。

毎回お願いしています寄附金の送り先は左記のとおりです。

◎銀行送金の場合（メール・電話・FAXでも結構ですから、

送金されたことを六甲台後援会事務局宛にご一報ください）

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

メールアドレス k-koenkai@rokkodaifund.com

電話・FAX (078) 861-3013

◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部を記入ください）

口座番号 00980-9-116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎本財団ホームページからの「寄附」

ホームページ「寄附」のWEB申込みフォームからご寄附いただけます。<https://www.rokkodaifund.com>

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013

E-mail:k-koenkai@rokkodaifund.com